

# 令和6年度予算編成方針・見積要領のポイント

## 本市の財政状況

- ・ 扶助費等の義務的経費が逡増、財政状況の硬直化が進んでいる
- ・ 原油価格・物価高騰の影響もあり、今後の社会情勢や国・県の動向等に注視する必要がある
- ・ 健全で持続可能な財政状況を保持するため、新たな財源の確保や行政サービスの効率化に向けた取り組みが必要

## 予算編成方針

(主な留意点)

- ◆ 「第6次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り
- ◆ リーディング・プロジェクトへの戦略的な財源配分
- ◆ 「健幸都市」づくりの推進
- ◆ 「ゼロカーボンシティくさつ」実現に向けての取組
- ◆ まち・ひと・しごと創生への取組
- ◆ 原油価格・物価高騰の影響を踏まえた予算見積り

CO<sub>2</sub>排出削減に積極的に取り組む

- ◆ 働き方改革の推進

現員体制で執行可能な予算見積りとする  
(上限を超えた時間外勤務を前提としない)

- ◆ 分権型予算制度の推進

枠配分方式の実施  
部局内予算の規律ある財政マネジメント

- ◆ 健全財政の維持

- ◆ 新規歳入確保の推進

- ◆ 行政経営改革の推進

「自立」「自律」した自治体運営を目指すため  
自主財源中心の財政構造とすることが重要

## シーリング(予算見積要領)

投資的経費 : 100%

その他の経費 : 100%

扶助費 : 102%

(障害福祉費(マルフク除く)は107%)

### ※その他の経費について

収支不足が見込まれる中でも100.0%としたのは、上昇傾向にある資材物価や労務単価等が、維持管理経費や業務委託等に及ぼす影響を考慮したため。

### ※扶助費について

補正予算での大幅な減額や、翌年度に多額の返還を行う事例が例年発生していることを鑑み枠配分額の見直しを行っているものであることから、実績を踏まえた適正な見積りとする。 (扶助費枠内でも審査を行う場合あり。)

## 総務部枠外協議(予算見積要領)

### ●対象経費

- ① 財政運営計画等(重点政策マネジメント事業含む)の審査結果において別途協議が必要と判断された経費
- ② アウトソーシングや実施手法の見直し等により、長期的にみてトータルコストの削減に繋がる経費
- ③ 市長が特にやむを得ないと認めるもので、財政運営計画等の策定後に生じた状況の変化に対応するための経費(※本編の留意点参照)  
【ハード事業は1件5,000万円、ソフト事業は1件500万円以上】  
※要件を満たさない枠外要求は厳に慎むこと。

## その他留意事項等

- ・ 情勢の変化によっては財政運営計画の事業を含めて見直しを行う可能性があるため留意のこと。
- ・ 公共施設包括管理業務については、令和6年度要求より枠配分外経費として取り扱う。
- ・ 光熱水費・燃料費については、昨今の原油価格・物価高騰の動向を鑑み、令和6年度予算においても昨年度と同様枠配分外経費として取り扱う。
- ・ 債務負担行為の活用等により、公共工事の施工時期の平準化に努めること。
- ・ 外郭団体への人件費補助や負担金は、職員課に処遇内容がわかる書類を提出すること。

## スケジュール

- 9/14(木) 予算編成方針の公開・財務会計システム入力開始
- 10/12(木) 総務部枠外協議の締切
- 10/26(木) 要求の締切
- 12/25(月) 総務部内示
- 12/27(水) 部長間調整の締切
- 1/15(月) 理事者復活の締切

主な事項について一部抜粋して記載しているため、予算見積りにあたっては、予算編成方針、予算見積要領、その他関連資料を必ず確認した上で予算を要求してください。